

オリーブ便り

主な内容

- ウエリスオリーブから近況のご報告 ●自分史(20) (成城学園前)
- 関西トピックス(吹田千里丘) ●活き意気アクティビティ
- 支配人紹介(新小岩) ●スタッフ紹介(町田中町)
- ハンドケアマッサージ体験(東村山富士見町) ●藍の叩き染め体験(新小岩)



「三千年以上の時を経て、ツタンカーメンのお墓から発見されたといわれる、ロマンあふれる“ツタンカーメンのえんどう豆”をテラスで育てました。美しい花を咲かせた後、大きな紫色のえんどう豆をたくさんつけてくれました!」(ウエリスオリーブ東村山富士見町・まちライブラリースタッフ)

オリーブガーデン



「初夏の陽気の中、珍客がありました。どこから来たのか不明ですが、カルガモの親子が中庭を2時間くらい散策。近くの野川から迷ってきたのでしょうか?親子に癒された素敵な日になりました!」(ウエリスオリーブ成城学園前・大山支配人)



初フリーマーケット

「分譲マンションの方々と交流をめざして、5月18日にフリーマーケットを開催しました。9店舗がエントランスホールに集い、大勢のお客さまが来場。ご入居の方も出店品を持ち寄り、交代で順番をしたり買い物を楽しんだり満喫されました!」(ウエリスオリーブ成城学園前・まちライブラリースタッフ)



桃の節句・端午の節句



丸めた花紙で出来ています。



「スタッフ手作りのひな人形や絵をラウンジに飾ると、「かわいいね」「癒される」とご覧になられたご入居者さまが、喜んでいらっしゃいました!」(ウエリスオリーブ鎌倉岩瀬・武山支配人)

「端午の節句に向けて、ご入居者さま有志で4月中旬から壁面制作に取り組みました。5月5日は完成の記念に手作り兜をかぶりお祝いをしました。また、4・5日は共同浴場に菖蒲湯をご用意し、充実の端午の節句となりました!」(ウエリスオリーブ新小岩・田中支配人)

活発な自主サークル

「ご入居者の方から「楽しく本の活動をしてみたい」という声が上がリ、“愉快クラブ”が発足したのが昨年のこと。秋冬で披露した人形劇発表会は大好評のうちに終幕。今年は落語絵本をもとにした人形劇を準備中です。「発声は健康によい!」と絵本や詩の輪読もしています。ここで募集のご案内です。飛び入り大歓迎! ぜひ一緒にやりませんか?」(ウエリスオリーブ津田沼・まちライブラリースタッフ)



仲間を募集中です!

「“東村山つなぐ囲碁会”がいよいよ復活しました。師範(6段)を中心に、ご入居者さまと近隣の方とともに切磋琢磨。師範不在の日も集まって自主対局しています。ご近所から全くはじめての入門者の女性も現れました!」(ウエリスオリーブ東村山富士見町・まちライブラリースタッフ)

命を守る訓練

「3月17日、隣接するウエリス武蔵野関町と合同防災訓練を行いました。消防署員の指導で避難やAED、消火器の操作訓練、起震車体験と充実の内容でした!」(ウエリスオリーブ武蔵野関町・楢原支配人)



「2月10日、つなぐカフェオリーブでピアノ演奏会を開催しました。奏者は近隣在住の小学生で、SDGsをテーマにしたご自身の創作童話を紙芝居に仕立て、お母さまのめくりに合わせての弾き語りでした。カフェにいらした方々はレベルの高さに感心され、笑顔で見守られていました!」(ウエリスオリーブ町田中町・まちライブラリースタッフ)

「日曜休みの併設デイサービスを会場に、5月12日は和楽器演奏イベントを開催。大勢のご入居者さまが堪能されました。また、6月16日の父の日には、サクソとギターのデュオによるJAZZイベントを開催し、こちらはご家族も多く来場。朝ドラでおなじみの「On The Sunny Side Of The Street」や「上を向いて歩こう」などを演奏してくださいました。どちらも好評でした!」(ウエリスオリーブ武蔵野関町・楢原支配人)

Life is music!



あちこちで再び育まれる、笑顔ほころぶ豊かな交流。

日頃よりウエリスオリーブの運営に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ウエリスオリーブでは健康的な日々をお過ごしいただくよう、ラジオ体操や健康体操など、さまざまなアクティビティを各所で企画・実施しております。自主サークルも園芸、囲碁、手作りなど多岐にわたります。

うに活動されています。つなぐカフェオリーブの外部利用も再開から一年が経ち、近隣の方のご入居者さまの交流も取り戻されています。

今後もよりよい運営のために努めてまいります。引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



「ボランティアさんが中心となり、縮繻つまみ細工のかわいい花のブローチを作りしました。思い思いに制作されたブローチを胸もとに華やいておられました!」(ウエリスオリーブ東村山富士見町・まちライブラリースタッフ)

『オリーブ便り』特別企画

ちょっと素敵な感動体験をお届け!

ウエリスオリーブにお住まいの方々へ、少しでも非日常的な体験機会をお届けする『オリーブ便り』編集企画。今号は2つのウエリスオリーブで実施した素敵体験をレポートします。

ウエリスオリーブ東村山富士見町で2019年に一度実施し、とても好評だったハンドケアマッサージ体験会。2回目の今回も日本ハンドケア協会の協力を得て実現しました。

「多くの方に体験を!」とハンドケアセラピスト8名を招き、プラチナルームの1階食堂・ラウンジと併設のデイサービスの2会場では体験会を開催しました。同協会認定のセラピストは、身近な方を癒したいと認定講座で学び、多くの方がボランティアとして高齢者施設へも赴いているそうです。

ハンドケアマッサージは、会話と視線を交わしながら、手と手を触れ合わせて行います。心も優しくつながるよう、最近も沈みがちだったという方も自然と笑顔に。あちこちで話に花が咲き、笑みがこぼれました。

予約受付、綿密なスケジュール表の作成、当日の会場へのご案内など、職員の方々がたくさんご協力くださいました。感謝の気持ちを込めて、最後に職員の方にも施術をプレゼント。午後の2時間で、2会場合わせて50名以上の方々に素敵体験をお届けできました。

ハンドケアマッサージ体験にご興味ありましたら、各ウエリスオリーブのサービスカウンターまでお問い合わせください。

デイサービス



リラックス効果が高いため、うとうとされる方も。



プラチナルーム 食堂・ラウンジ



男性もたくさんご参加くださいました。

デイサービスのスタッフも体験!

【体験協力】一般社団法人 日本ハンドケア協会 <https://handcare.or.jp/>



肌に優しいマカデミアナッツオイルにドライハーブのラベンダーを漬け込み抽出したトリートメントオイルを使用しました。

ウエリスオリーブ 東村山富士見町 7/10(水)

優しく手に触れ心もつながる ハンドケアマッサージ体験

ウエリスオリーブ 新小岩 7/22(月)

生葉で藍の叩き染め体験

藍を栽培し、藍染め体験会などを通じ、コミュニティも育てようと発足した「神田藍の会」の協力で、ウエリスオリーブ新小岩でも体験会を開催!

草木染め好きで、洋服やスカーフなど藍染めの服飾品をお持ちの方がいらっしゃるなか、生の葉を染料に叩いて染める手法は、みなさんが初体験とのこと。講師による藍染めの原理、今回の叩き染めの手順などに、何度もうなずかれていました。

手順はとても簡単です。藍の生葉を用意したミニバッグ上にレイアウトし、養生テープで葉を固定して、釘を打つように真上からゴムハンマーでトントン。途中、養生テープをめくって、移り具合を確認。叩く場所を調整して満足のいく結果を得られたところで、みなさんの体験内容は終了。あっという間の1時間でした。

その後の工程は個々のお部屋での作業で①水洗い②水洗い③繊維を落とす④水洗い⑤干すを何度か繰り返す。⑥レモン果汁や酢を加えた酸性水に浸して色止めを行う、と説明がありました。講師の峯岸由美子さんの閉会の言葉、「徐々に藍色に染まる様子をぜひ楽しんで!」に、みなさんが笑顔になりました。



色止めめしたミニバッグ。藍色がキレイです。

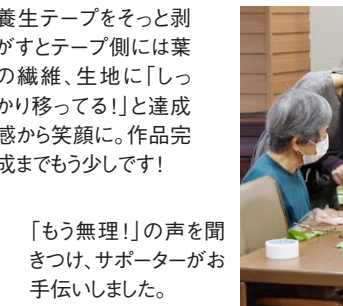


「神田藍の会」を推進する(一社)遊心の代表理事・峯岸由美子さんを講師にお迎えしました。

【体験協力】一般社団法人 遊心[Yushin] <https://yushin.or.jp/>



養生テープをそと剥がすとテープ側には葉の繊維、生地に「しっかり移ってる!」と達成感から笑顔に。作品完成までもう少しです!



「もう無理!」の声を聞きつけ、サポーターがお手伝いしました。



朝採りの藍を届けてくれました。



自分史

第二十回 S・みさ子さん

「ウエリスオリーブ成城学園前」ご住

水彩画を追求すること22年の継続力

子育てしながらも、水彩画への探究心は衰えることなく、学びを重ね続けた人生。チャレンジ精神は多様なジャンルへも向かいました。

— 絵画はどのように学ばれたのですか？

Sさん 振り返れば高校では美術部に在籍し、美術大学へ進学。友人たちの影響もありました。美術部顧問から美大受験対策で彫刻家を紹介され、1年間で50回ほど通い、そこではじめてデッサンを学びました。当時は日本画が油絵か、二択で、水彩画がジャンルとして確立していませんでした。なかでも水彩画に魅了されたきっかけは？

Sさん ただ、本当に好きというだけで。油絵も下絵は水彩画で、美術家には特別なものではないと思います。

— 美大卒業後は専門的な仕事に？

Sさん 年上の研究職の方とお付き合いをしまして、卒業まであと2か月というタイミングで結婚、同年に赴任地へ帯同となりました。第一子出産後には米国が赴任地となり、母子で追いかけて渡航。米国ではいろいろな体験をしました。

— 美術だけではなく語学力も？

Sさん それが全然で。でも自動車運転免許証を取ったんですよ。買物はぶらり手ぶりでなんとかなりましたし、試験でも辞書の持ち込みが許されていました。帰国後も仕事の都合であちこち移り住みました。専業主婦に収まらず、洋裁を習ったり、そのご縁から高校の美術講師を短期で受けたり、子育て中に水彩画教室にも通いました。

— 資格試験合格の取材を受けたとのこと。

Sさん 息子たちが社会人になり、私は50歳目前。非常勤で就いた仕事に慣れた頃、社会とつながれる仕事で主婦経験も活かせるというインテリアコーディネーターの道をめざして、満喫中です。



水彩画・作品名「初夏の果物」。作品名は、描き上げてからつけるというSさん。時を経て、その時の感性で作品名を変えることも。アートとはいつも未完成。手直しを加えるごとに作品の完成度を上げていくものだそうです。



水彩画・作品名「盆地に建つ聖アドラン教会」(ベルギー・セル村)。静物画、風景画のほかには人物画も描かれます。

随時募集中! **あなただけの物語、「自分史」を「オリーブ便り」に掲載しませんか?** 「オリーブ便り」編集スタッフが話をうかがい、あなたの「自分史」の記事にまとめます。大切にしてきたことやもの、思い出話などをぜひお教えください。ご興味がありましたら、コンシェルジュスタッフまでお声がけください。



1936年生まれ、東京都出身。美術教員、インテリアコーディネーターなどの資格を保有。洋裁も学ばれました。



母親が愛用されていたという着物の帯をバッグにリメイク。

洋裁

水彩画

左の写真は写生中の一枚。現地で8割ほど完成させるそう。

Kansai Topics

Wellith OLIVE

ウエリスオリーブ吹田千里丘

ウエリスオリーブ吹田千里丘 《思い出アルバム 2024春》



お花見会

4/5

「近所の保育園でのお花見会へご入居者さまが招かれました。会場は園庭で、天気にも恵まれ、園児にみなさんから歌のプレゼント、肩たたきや手遊びの時間もあり、とても和やかで楽しいひと時を過ごされました」(コンシェルジュ 藤井さん)

母の日

5/12

「母の日にちなみ“お笑いカンツォーネ”と題し、オペラ界の綾小路さきみろこと「ぱりんと亭千秋」さんを招いてコンサートを開催しました。さすがオペラ歌手。素晴らしい歌声にご入居者さまは大変喜ばれ、歌詞カード片手に大合唱となりました」(ケアマネジャー 長谷川さん)



つなぐイベント

5/19

「ウエリスオリーブ吹田千里丘と同数地内の分譲マンション・ウエリス吹田千里丘との共有イベントスペース「コモンベース」にて、第1回「つなぐイベント」が開催されました。イベント内容は、「茶摘」が夏も近づく八十八夜～にちなみ、京都東山の老舗「大谷園茶舗」の出張販売(新茶と和菓子)と短歌の募集の二本立て。70名ほどの方がご参加ください、和菓子はほぼ完売で大盛況でした」(ケアマネジャー 長谷川さん)



物件概要【所在地】大阪府吹田市市長野東6-31(住居表示)【交通】JR京東線「千里丘」駅徒歩9分(約720m)

リレーで紹介

走る! 支配人!!



ウエリスオリーブ 新小岩 支配人 田中

静岡県出身。調理の腕には自信あり、これから食事イベントも企画・実施予定。人と人をつなぐことに長け、さまざまな交流機会の創出も検討中です。

輝きを求め介護業界へ

介護福祉業界へ入る前は、法人を相手とするパソコン関連の仕事に就いていました。長年勤めたものの、違う方面でこの身を役立てることはできないかと、世の中を見回すために退職。その時に見えてきたのは、定年退職後に活躍する身内の姿で、仕事に携わっている時の豊かな表情でした。

— どのような業界なのか興味を引かれ、誘われるまま手伝った仕事が、身内と同じサービスの送迎車ドライバー職でした。ドライバーからはじまり、介護職員初任者研修、実務経験を積み上げ、国家資格の介護福祉士を取得。デイサービスでは相談員、責任者を務めました。相談員の仕事は、ご利用者さまの生活全般の相談を受けることです。入退院前後の不安を緩和するための看護・介護の連携の説明や補佐、生活環境の整備など多岐にわたります。

さまざまな経験を経て

気づけば介護業界も長くなり、いろいろな経験をする機会に恵まれました。小規模のデイサービスでは調理も業務に入ることがあります。私も一人厨房に入り、昼食の調理を担当したことがあります。元々、調理



学生時代の遊び場所は、近所のテニスコートでした。15歳頃にはじめてのテニスは一時中断時期があったものの、住まい近くのテニスクラブで続いています。

スタッフ紹介 /

ウエリスオリーブ 町田中町

ご入居のみなさまの日々の生活を陰ながらサポートしているスタッフにスポットライトを当てて、仕事内容+アルファをご紹介します。



所長 杉森 いづみさん 管理栄養士 高祖 恵さん (株式会社グリーンヘルスケアサービス)

ウエリスオリーブ町田中町のレストラン「つなぐカフェオリーブ」は、「三図書館」「まちライブラリー」を併設し、外部利用もできることから、ご入居者さま同士や地域との交流の場にもなっています。今回は、日々のキッチンを支えるスタッフのご紹介です。

「ご入居者さまへ提供する食事サービスは、1食から予約できますが、ほとんどの方は1日3食利用されています。現地調理ですから、出来たての提供はもちろん、必要に応じて食事形態をすぐ変更できます」(杉森所長)

身体状態に合わせて、調味や食材の大きさ、カット方法を変えての対応もしているのです。

「メニューは、調理師であり栄養士の杉森所長と管理栄養士の私で考えています。和洋中、肉や魚のバランスのほか、人気の麺やどんぶり食を週1回は取り入れるようにしています」(高祖管理栄養士)

さまざまな調理場経験のある二人がタッグを組み、食事が楽しみになるメニューを開発しています。調理でこだわっている点、配慮している点をうかがうと…。

「硬い食材や噛みにくい食材、逆に歯応えを残したい食材は、加熱時間を計算して調理しています。

味付けは濃すぎず薄すぎず、時にはパンチありとメリハリをつけるよう工夫しています」(杉森所長)

ご入居者さまの様子や声を直接うかがえるのは、現地調理ならではのひと手間。メニュー開発の参考にしているそうです。

「年度末に1年分のメニューを二人で決めているのですが、評価が十分ではなかったメニューについては、改善点を話し合っています。見た目はよかったけれども、食べる時に崩れやすかった、口内の水分を吸収してしまい飲み込みにくかったという声は非常に参考になります」(杉森所長)

レストラン出入口の壁には「ご入居者さま向けイベントメニュー」コーナーがあり、メニューの告知ポスターが何枚も貼られています。「週に1回程度、イベント食を提供しています。通常メニューとはちょっと異なる雰囲気づくりに、私たちも毎回楽しく挑戦しています」(高祖管理栄養士)

「安全でおいしい食事は当然ながら、シユマイやコロッケなど手作りにこだわったメニューも検討中です。利用されるご入居者さまの人数が増え、量を用意する工程にも工夫が必要です。ぜひ成し遂げたいです」(杉森所長)

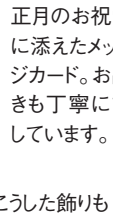


杉森 所長

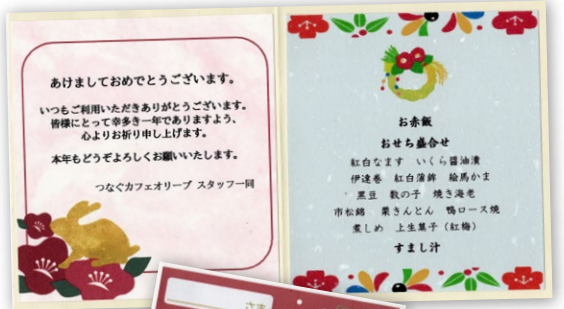
東京都出身。高校で食品科学を専攻、さらに専門的に学び栄養士の資格取得。調理の実務経験を積み調理師免許も得て、さまざまな調理場での経験を積む。実は他業界での経験も豊富にあります。



大好評だった、ビールにしか見えない“リンゴジュースのゼリー”。



こうした飾りも手作りです!



正月のお祝い膳に添えたメッセージカード。お書きも丁寧に記載しています。

こうした飾りも手作りです!



レストランを利用されていないご入居者さまへも毎年お届けしているというクリスマスカード。一周年お祝い、来年の意などをメッセージしています。

高祖 管理栄養士

秋田県出身。高校で食品科学を専攻、管理・臨床栄養に関する学びを深め、病院に勤めながら管理栄養士の資格を取得。企画やアイデア出しを行う提案型の業務スタイルは、現在の職場でも変わらず能力を発揮中。



数年前に世界一周のクルーズ旅行へ! 左の写真は乗船したクルーズ船、右は南米ペルーの世界遺産・マチュピチュで一枚です。



沖縄料理のイベント時に作った“サーターアングギー”。この時に揚げた数は約50個!



昨年から2年続けて家族3人で猿島へ(左の写真2枚)。昨年は木更津へも(右端の写真)。

